

保存版

～自らの身は自らが守る～

# 寺谷 風水害ガイドブック

発行者：寺谷小域福祉ネットワーク 問合せ「なのはな館」 ☎ 92-1481

**我々は災害を防ぐことは出来ないが、  
その災害の規模を減らすことは出来る！**



2019年に発生した2つの台風による被害で防災対策の必要性を感じられた事と思います。

寺谷小域福祉ネットワークでは、この台風を教訓とし、寺谷地区に特化した「風水害ガイドブック」を発刊し、災害発生時の迅速かつ適切な対応となる一助として役立てて頂きたいと思っております。

風水害の被害を最小限にするため、私たちは日頃から地域の災害危険性を把握し、台風や集中豪雨など危険が迫っているときには早め早めの行動（対策）をとることが大切です。「自らの身は自らが守る」を実践しましょう！

## 重要な3つのポイント

**正しい  
気象情報  
等の入手**

**災害から身  
を守るため  
の知識、避難**

**風水害に  
備えた  
準備**



## 2019年に発生した台風15, 19号での教訓

9月9日に千葉県に上陸した台風15号は最大瞬間風速が観測史上第1位となる秒速57.5mもの強風の影響で、建物被害や倒木等が多数発生し、停電の長期化や、断水・通信障害など、市民生活や産業活動の多方面に大きな被害が生じる特殊な災害となりました。また、台風19号による被害や、台風21号の接近に伴い10月25日に記録的な大雨に見舞われました。この大雨においても浸水や土砂崩れ等で甚大な被害が発生しました。



菅の谷台での倒木



小勝山団地での電柱倒壊



寺谷地区での道路崩壊

日常生活ではあって当たり前の「電気」「水」「通信手段」が断たれた生活は誰もが想像していなかった出来事でした。

改めてそれらの重要性・有難さを痛感させられました。

また、強風による倒木や電柱の倒壊、屋根等の破損、さらに大雨による道路崩壊等が起こり、経済的にも甚大な被害に見舞われました。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。



今回の災害で色々な問題点が浮き彫りになったと思います。個人が出来ること、町会・自治会で取り組むこと、また、行政にお願いすること等を整理して、「風水害対策」を進めていきましょう！

今年度、市原市から配布された「防災マップ」を参考に、普段から災害リスクを認識した上で、自分が知っておくべき「危険個所」、「指定避難場所」、「指定緊急避難場所」、「避難経路」、「家族との連絡方法」を確認し、自らの命を守る行動を取りましょう！



## ★★ 非常時に役立つもの ★★

### 最低限準備しておくべきもの (非常持出品)

#### ●非常食・飲料水

火を使わない食べ物と水などの用意を。



#### ●携帯ラジオ

AM・FMの両方を聴けるものを用意。予備電池も多めに準備を。



#### ●持病の薬・常備薬

いつも飲んでいる薬があれば必ず準備を。お薬手帳も忘れずに



#### ●懐中電灯

出来れば一人に1つ用意。予備電池・電球もあわせて準備を。



#### ●お金・貴重品

お金は公衆電話用に10円硬貨も入れておく。貴重品は、預貯金通帳健康保険証、免許証や印鑑など。



#### ●ヘルメット・軍手。タオル着替え・運動靴

一人ひとりに準備。着替えの衣類は長袖・長ズボンの用意を。



#### ●その他

携帯電話の予備バッテリー、携帯用トイレ、ビニール袋、ウェットティッシュ、生理用品なども家族に合わせて準備を。乳幼児やお年寄りがいる家族は、哺乳瓶、粉ミルク、紙おむつなども忘れずに。

### 被災後の生活のために準備しておきたいもの (災害用備蓄品)

#### ●食料

家族の分の食料を最低でも3日分、周辺の道路状況によっては7日分確保



#### ●水

一人1日3リットルを目安に、必要な日数分の備蓄を。浴槽への貯水を習慣づけることも大切



#### ●その他

・カセットコンロなど ・ホイッスル ・予備の眼鏡 ・ビニールシート ・ビニールラップ  
 ・新聞紙 ・ガムテープ ・厚底スリッパ ・筆記用具 ・ゴミ袋 など

## ★★ 風水害に備えた準備 ★★

普段から、家屋や庭の状況を確認し、気づいた部分については、施設の補強や周辺の清掃、整理整頓をしておきましょう。気象情報をこまめに確認して、むやみに外出することは避けましょう。

**■外壁**

- ・モルタル壁に亀裂はないかの確認を。
- ・板塀に腐りやぐらつきがないかの確認を。

**■屋根**

- ・瓦のひび、はがれ、ずれがないかの確認を
- ・トタンのめくれや、剥れがないかの確認を。
- ・テレビアンテナのチェックを。

**■ベランダ**

- ・鉢植えや、物干し竿など飛びそうなものは室内へ。

**■雨どい・雨戸**

- ・雨どいに落ち葉や砂利が詰まってないかの確認を。
- ・雨戸にガタツキやゆるみはないか確認を。

**■窓ガラス**

- ・ひび割れ、窓枠のガタツキはないかの確認を。
- ・強風よる飛来物に備えて、外側から板で塞ぐなどの処置を。

### 家の周りの点検

家の周りは整理し、特に危険物の安全点検は入念に行いましょう。(灯油、ガソリン、農薬など)



危険物は、物置や倉庫の中に整理します。容器が倒れても内容物が流出しないように、キャップはしっかりと閉めましょう。用水路や側溝を掃除しておきましょう。





## 「自分の判断」で速やかな避難を！ (避難・防災気象情報と警戒レベル分け)

市町村が出す避難情報と気象庁が出す防災気象情報は、5段階の警戒レベルで表示されます。ただし、自分の身に危険が迫っていると感じたときなどは、避難情報の発表を待たず、防災気象情報などを参考に自主的に避難行動をとる事が大切です。なお、寺谷地区では避難場所として、寺谷小学校が指定されていますが、避難場所への移動は、距離が遠いこと等による二次災害の恐れや、新型コロナウイルスの感染の危険性があるため、出来るだけ、家族単位、町会単位で避難先を考え行動しましょう！

危険度		避難・防災気象情報など	住民がとるべき行動
▲	警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める
▲	警戒レベル2	洪水・大雨注意報 (気象庁)	避難に備え、避難行動を確認
▲	警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 (市が発令)	高齢者などは立退き避難 そのほかの人は避難の準備
▼	警戒レベル4	避難勧告・避難指示 (緊急) (市が発令)	速やかに立退き避難 移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難
▼	警戒レベル5	災害発生情報 (市が発令)	既に災害が発生しています。 命を守るための最善の行動を取りましょう。

- レベル3

避難準備を行い、避難に時間がかかる高齢者などは避難を開始しましょう。また、特に危険な地域にお住まいの方は自主的に避難行動をとりましょう。

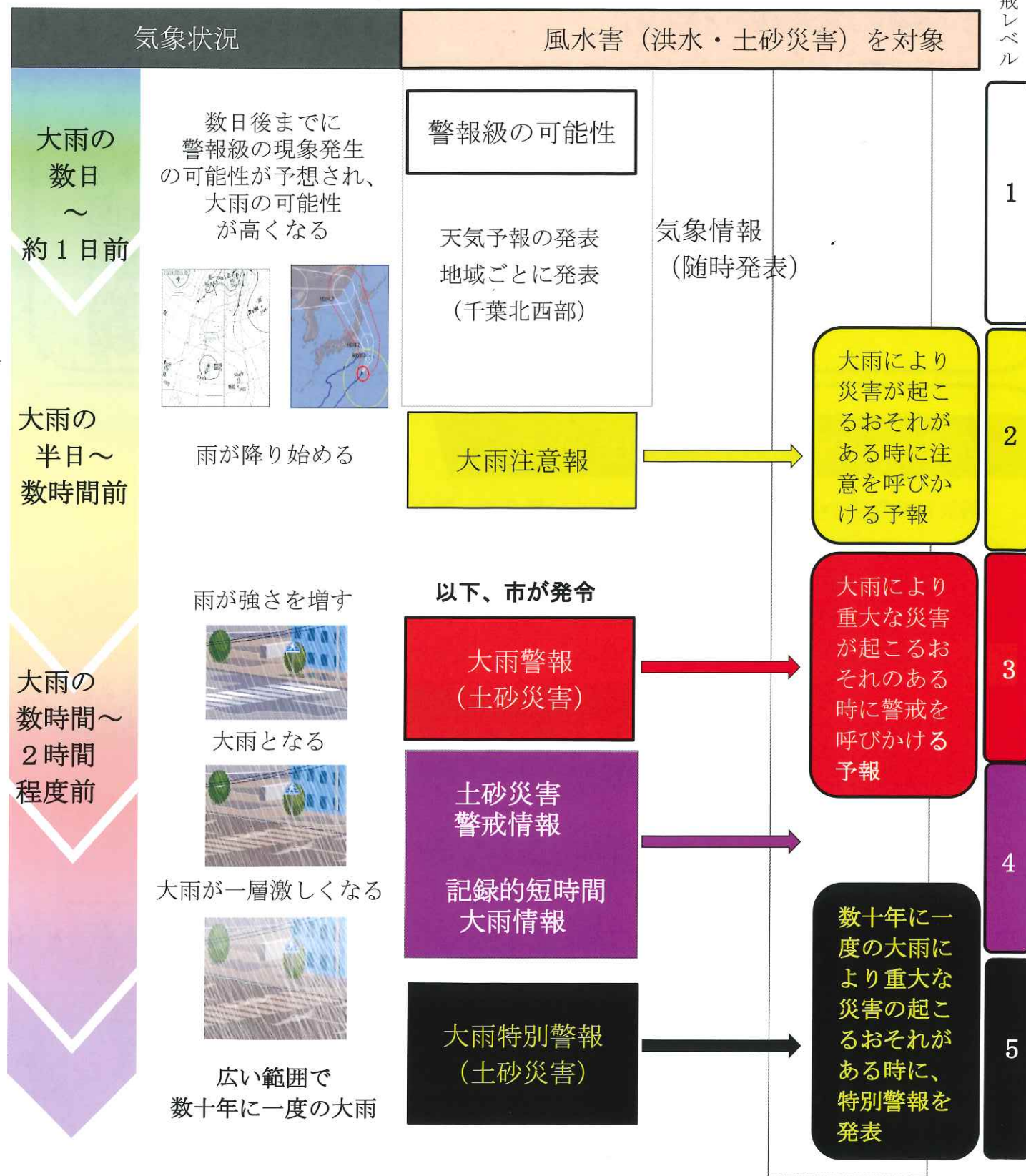
- レベル4

速やかに安全な避難場所などに全員避難しましょう。

- レベル5

災害が発生した状態です。この情報が出たときには避難を済ませている必要がありますが、それでも避難できていなかった人は、例えば屋内の2階以上の場所に避難するなど、少しでも命の助かる可能性の高い行動をとりましょう。

## 災害から身を守るための情報 (段階的にする防災気象情報)





# 「いざ」という時に備えて

災害が起こった時、避難に関する情報などをすぐに入手できると安心ですよね。また、ひとつの情報源だけではなく、複数の情報源を活用することもオススメです。この機会に、情報収集の方法を確認してみましょう！

## 市原市情報配信メール

登録サイト


<https://service.sugumail.com/ichihara/>

避難に関する情報などの、防災行政無線で放送される情報や、生活に密着した緊急性の高い情報などを携帯電話のメールで受け取る事ができます。右記のサイトから登録するか、[t-ichihara@sg-m.jp](mailto:t-ichihara@sg-m.jp) に空メールを送って登録する事ができます。



## 防災行政無線の電話音声案内サービス

電話音声案内サービス

 0120-899-890

防災行政無線からの放送が聞き取りにくい場合や、聞き逃した場合への対応として電話（フリーダイヤル）により放送内容を確認できる電話音声案内サービス（テレホンサービス）を行っています。

## 災害対策の基本3要素

**自助**

自分の命・財産を自分で守る

**共助**

地域や近隣の人があがいに協力し合う

**地域の防災力**

**公助**

国や都道府県等の行政・消防・警察・自衛隊による救助・援助等の支援